

## メタデータのエクスポート

リポジトリデータは、AlmaからFTPディレクトリに手動でエクスポートできます。これを行うには、エクスポートジョブの1つを手動で実行します（タイプ=エクスポート）。詳細は、[定義済みセットの手動ジョブの実行](#)を参照してください。

エクスポートジョブによってエクスポートされたファイルは、[過去30日間にエクスポートされたプロセス]ページで利用できます。[エクスポートジョブを使用してエクスポートファイルを表示する](#)を参照してください。

Alma機関から書誌レコードをエクスポートする場合（またはAlmaの一般出版またはAPI GET書誌を使用する場合）、AlmaはMARC 001フィールドの機関のレコードのMMS IDが返却されます。さらに、MARC 035フィールドのコミュニティゾーン、および/または、ネットワークゾーンが存在する場合、Almaはそこから関連するMMS IDを次の方法で返します。

- 機関ゾーンMMS ID（既存の機能、変更なし）

```
<controlfield tag = "001"> IZ_MMS_ID </ controlfield>
```

例：

```
<controlfield tag="001">9966347601866</controlfield>
```

エクスポートされた機関ゾーンMMS ID

- （EXLNZ – ネットワークコード）のプレフィクス（=IDの前につける接頭コード）をもつネットワークゾーンMMS ID

```
<datafield tag="035" ind1=" " ind2=" ">  
<subfield code="a">(EXLNZ-NETWORK_CODE)NZ_MMS_ID</subfield>  
</datafield>
```

例：

```
<datafield ind1=" " ind2=" " tag="035">  
<subfield code="a">(EXLNZ-01ALLIANCE_NETWORK) 99108122260001451</subfield>  
</datafield>
```

エクスポートされたネットワークゾーンMMS ID（プレフィックス付き）

IZ MMS レコードは、エクスポート中に035に追加されるように構成できることに注意してください。これを設定する必要がある場合は、Ex Libris サポートにお問い合わせください。

- （EXLNZ）のプレフィクスつきコミュニティ・ゾーンMMS ID

```
<datafield tag="035" ind1=" " ind2=" ">  
<subfield code="a">(EXLCZ)CZ_MMS_ID</subfield>  
</datafield>
```

例：

```
<datafield tag="035" ind1=" " ind2=" " >  
  <subfield code="a">(EXLCZ) 9966348601867</subfield>  
</datafield>
```

エクスポートされたコミュニティゾーン **MMS ID** (プレフィクスつき)

書誌レコードの機関MMS IDについては、[書誌事項レコードの機関MMS ID](#)ビデオ (1:49分) を参照してください。